

メダカがすむ安全な田んぼで作った 「めだか米」

- 生物多様性保全機能 -

かねあい 家根合 地区・最上川土地改良区 NPO 法人家根合生態系保全活動センター



地元小学生による
メダカの保全活動

家根合（かねあい）地区では、小学生のメダカ保全活動を契機に、ほ場整備とあわせて、住民参加の自主施工によりメダカ保全池等を設置。

この保全池や周辺環境の維持管理のため、地域住民による NPO 法人が設立され、地域住民が一体となったメダカの保全活動を行っている。さらに、メダカがすむ田んぼで、安全・安心な米づくりに取り組み「めだか米」としてブランド化している。



しょうないまち
山形県庄内町



「めだか米」と「めだか米」
を使った純米酒

〔生物多様性の保全〕

環境に配慮したほ場整備事業によりメダカ等絶滅危惧種の生息環境の保全に取り組んでいる。

〔体験学習と教育〕

造成された保全池において、地元小学生が地域に生息する魚類等を学ぶ総合学習を実施し、メダカがすむ田んぼで米づくりを学習している。

〔保健休養〕

保全池の維持管理の活動やメダカの保全活動を通じて、心が和み、安らぎが得られる等、保全池が癒し空間となっている。



地元小学生に対し、魚類調査体験及び魚の学習会を実施



農家の指導を受け、地元小学生が「めだか米」の稲刈りを実施